

小松島商工会議所 商業・サービス合同部会 議事録

日時：令和8年6月8日（月） 午後4時30分から

場所：小松島商工会議所 会議室

出席者：商業部（4名）、サービス部（2名）、事務局（2名）、その他（1名）

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

○ロボットイベント「HRWC」の開催に関する報告と展望について

- ・7月18日・19日の2日間、アスティとくしまにてロボットイベント「HRWC（ヒューマン ロボット ワールド チャレンジ）」が開催される
- ・人間の俳優とロボットによる演劇、高校生による阿波踊りとロボットの共演、専門家講演などを予定
- ・徳島にロボットやAIなどの新しい産業を創出し、若者の県外流出を防ぐことが主な目的。将来的にロボットが普及した際、自動車の車検や整備工場のように、地元でロボットのメンテナンスを担える人材やビジネス（フィジカルAI産業）を育成していく必要性が語られた

○ブルーインパルス飛来に伴う課題とインバウンドの現状

- ・20万人規模の来場が予想されており、深刻な交通渋滞や、小松島市および徳島市周辺の宿泊施設の全滅（枯渇）が懸念されている
- ・ドバイの空港事情等の影響で、ヨーロッパからのお遍路客が減少している一方、アメリカからの客は増加している。外国人観光客の受け入れにあたり、お遍路宿の不足や、キャッシュレス決済未対応・交通アクセスの不便などが課題として挙げられた

○生成AIツール活用セミナーとAI時代の教育について

- ・7月23日に徳島大学の講師を招き、「生成AIツール活用セミナー」を開催する。ChatGPTなどのアカウント作成から、業務効率化やプロンプトの基本ルールなどを学ぶ内容となっている
- ・AIが論理的な推論やデータ処理を代替するようになる今後、人間には「人間関係の調整能力」や「お金を集めてくる能力」など、AIにはできないスキルがより求められるようになる
- ・AIの普及を見据え、文科省の「ネクストハイスクール構想」にも触れつつ、県内の高校の学科改編や、学区撤廃に伴う生徒の流出問題について議論された。10年先を見据え、子どもたちが地元で働きたくなくなるような教育と産業作りが急務であると指摘された

○地域経済と雇用について

- ・徳島県内の企業が、高い賃金を提示する県外の企業に人材を引き抜かれている現状が報告された
- ・安い単価で仕事を受注し続けることは事業の継続性を損ない、若者に選ばれない会社になってしまう。若者が地元に残るためにも、適切な賃金を払える企業体質への改善と、

単価引き上げの必要性が議論された

4. その他

次回の予定 7月8日(水)、8月7日(金)、9月14日(月)、10月15日(木)、11月17日(火)
12月8日(火)、令和9年1月13日(水)、2月8日(月)、3月8日(月)
16時30分～